

C07 自治体職員のための金融基礎講座(資金運用のリスクと管理①)	
平均所要時間	60分
対象業務	財政、起債、資金運用、地方公会計、公営企業各事業、管理職の方
難易度	★☆☆
学習の目的	・公金運用にかかる関係法令を理解する。 ・預金の商品性とリスク管理について理解する。
前提知識	特になし
学習目標	「学習の目的」を理解した上で、現実の資金運用のリスクマネジメントに活用する。
コース構成	<p><b>1. 資金運用の法令と運用商品</b> [19:09] お伝えしたいこと / 自治体の管理すべき公金の種類 / 歳計現金にかかる規定等 / 基金(積立金)にかかる規定等 / 歳計現金と基金(積立金)の違い / 実務において普及している公金管理・運用の考え方 / 資金運用のリスク管理 / 主な金融商品の比較 / 基金の類型に基づき考える運用可能な期間 / 【まとめ】定期預金と債券運用のリスクの違い</p> <p><b>2. 預金の商品性とリスク管理</b> [12:30] 預金の役割・・・間接金融 / 主な金融機関と預金取扱金融機関 / 預金とは / 仕組預金に注意(コーラブル定期・ステップアップ定期など) / 【まとめ】預金のリスクと管理 / (参考)用語解説・注釈</p> <p><b>【参考】「出前講座」「実務支援」(個別相談)のご紹介</b> [2:59]</p>